



2021.6.21 初聖体・洗礼式

地の塩、世の光として生き続けて

主任司祭 パウロ・フィラデルフィ

南山教会のみなさん、今夏の暑い時期に入り、いろいろお世話になったこと、コロナ時期の中でもみなさんが頑張ってきたいろいろな教会の作業、お捧げになった数々のお祈りを心から感謝申し上げます！8月には平和旬間、聖母の被昇天、お盆という主な行事があつて、私たちは、自分が持っているキリスト教の信仰、希望、愛について証しするよう招かれています。キリスト教信者としてこの世に住み、他の社会人、兄弟姉妹と同じような悩みと痛みがあるにちがいないと思います。これからどうなるかと、買い物、御ミサに参加すること、友達と会うことなど大丈夫かどうかという悩みがあると思います。しかし、「あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である。」と言われます！このキリストの言葉はどの時代でも、どの時でも有効であり、諦めずに生きるように励まされていると思います。天に上げられた聖マリアの姿を見ると、その美しい模範となるのではないかと思います。聖マリアは神の救いのご計画の中に大事な役割がありますが、それに従う道は決して歩きやすい道ではありません。天使の不思議なお告げ、シメオンが予告した痛みにお応えになったマリアは神を信じてお応えになり、神のプランに参加することになります。それでは、私たち一人ひとりとしても、南山教会の共同体としてもどのように生きていけばいいのでしょうか。大変な時になっても神に置く明るい将来を他の人々にも示すことができるでしょうか。それは、命を与えてくださる唯一の神、私たちの天のお父様に信頼を置くことによつて、そして、私たち全人類の為に生まれ、十字架でなくなり、復活の勝利を得られたイエス・キリストに従うことによつてできるのではないのでしょうか。この時期こそ信仰の喜びを持ってお互いに励ましあい、この地の塩、世の光として生き続けることができますように祈りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時



初聖体感想文



初聖体の日

アンドレア 萩原 逢人

6月20日に初聖体を受けました。

最初からきん張っていて、少しこわかったけどがんばって朗読を読みました。ゆっくり落ちついて言う事を意識しました。

そのあと、ご聖体を受けるとき、これからイエス様が心の中に入るんだ：と思いいながら受けました。

そして最後のはく手や信者のみんなさんたちの「おめでとう」などの言葉と、教会学校の人のおいわいの手紙などがとても、うれしかったです。

次は、初聖体の人のおいわいする側になり、南山教会の一員にもなったのでこれからの祈りなども力を入れていきたいです。
楽しみにしていた初せいいたい

ヨセフ 萩原 維人

二〇二一年六月二十日 せんれい
をうけて、初せいいたいを受けました。ホスチアを食べたら、口の中でとけていったのでイエスさまをむかえたということがわかりました。せんれいをうけてヨセフとゆうせんれい名をもらいました。おいのりをもっとして神さまの子

どもとして生きていきました。はじめの聖体

むらはし せり

わたしは、二〇二一年六月二十日南山教会で初聖体を受けました。教会で教えてもらう前は、

「どんなあじがするのかな」「おいしそうだな。」と、思っていました。三カ月の間神父さまに教えてもらうにつれて、はやく大人みたいに食べられるようになっていきました。

初聖体前日に、はじめてパンのとり方をおぼえました。みんなの前に出るのは、どきどきして、ほんたいの手でパンをもちおうとしてしまったので、当日は、気を付けようと思いました。そして、パンをはじめて食べて、「やっといエスさまの体をもらえたな。」と思ううれしくなりました。わたしは、ぶじ初聖体を終えることができました。

これから、神父さまの話をたくさん聞いて、学んでいきたいです。
ソフィア じゃん そゆん

6月20日、わたしはせんれいとはつせいいたいを受けました。せんれいしきのときにわたしのあたまにながれてきた水はオーロラのようなピカピカひかっているようにかんじました。この水がわた

しのつみをぜんぶながしてくれりんだとおもったらすごくうれしかったです。わたしのせんれい名はソフィアですが、学校のうえず先生から「ソフィアはあたまがよいよ」と言われたのがうれしかったです。また、ごせい体をうけたのでイエスさまが心のなかにいらつしやいます。どんなにさびしいときもイエスさまといっしょにいるのであんしんです。イエスさまの体をいただいたとき、わたしはイエスさまにもがんばっていけるといいな、と心のおくから感じました。ともだちとけんかしたときはすぐなかなおりできるすなおな心をもちたいと思いました。どこにいてもわたしといっしょにいてくれるのは、お母さん、お父さんとイエスさま、この3人です。なのでお母さんとお父さんとイエスさまを大切にしたいです。イエスさまの体をもらうときは、イエスさまのことしかかんがえられませんでした。だから、心の中はイエスさまでいっぱいです。これからは、わるいことをしてしまっているときも、イエスさまはわたしをみていらつしやいます。だから、わたしの方から先にあやまつたりゆるしたりしてあげていきたいです。

はつせい体 戸野部 慧

はつせい体にむけて、べんきょうがはじまつたら、はつせい体をうけるまでがんばろうと思いましたが、

はつせい体ミサの日は、きんちょうしたけど、キリストの体をいただいた時ちよつとうれしかったです。

はつせいいたいをうけて

ヴォア・フォン・チャン

4月から、はつせいいたいをべんきょうをはじめてまいにちおいのりをしました。おいのりはおみさまのかわいというの日は日よう学校でまなびました。だからかみさまといっばいおはなしをしました。

そのほかにかみさまの十かいをまなびました。

はつせいいたいときには、はじめてかみさまのからだをもらいました。

いただいた体のなかでちからがでてきました。

はつせいいたい・せんれいしきをふりかえつて

セシリア 坂口 ほの

わたしは、六月二十日にはつせいいたいをうけました。はつせいいたいをうけるために、しんぷさまからいろいろなおしえてもらいました。べんきょうはむずかし

かったけど、せんれいやせいたい
が七つのひせきのうちのつたど
いうことや、かみのじゅつかいの
いみもよくわかったのでよかつた
です。

はつせいたいの前日にうけた
ゆるしのひせきは、ドキドキした
けど、自分のなおしたいところを
こくはくすることができました。
しんぷさまにおしえてもらった
「つぐない」のおいのりをしつか
りしたいと思いました。

これからもたくさんおいのりを
してかみさまとおはなしをしてい
きたいです。

マリア 村井 おあぞら

わたしは、さいしよは、はつせ
い体がどんなものか分かりませ
んでした。でも、ママにきくと「
イエスさまのお体をいただくこと
なんだよ。」と、おしえてくれま
した。そして、わたしは、はつせ
体をうけたいと思いました。で
も、さいしよは「ホスチアをいた
だきたいな」とかよく考えていま
したが、パウロ神父さまのじゅ
ぎようをうけると楽しくて「もつ
としりたい」「もつと学びたい」
という心が高まりました。

とくに楽しかったのは、おうち
のお話です。土台がイエスさま、
はしらが、聖書・ひせき・おいの
り・きょうかいのおしえ、やね

が、共同体だとおしえていただき
ました。わたしは、おともだちが
大すきなので、共同体のやねをが
んばりたいと思いました。

それから、「イエスをおむか
えするため、心のとびらをいつ
もひらいていきましょう。」と言わ
れました。（えもおもしろかつた
です。）だからわたしは、心をい
つもきれいにし、イエスさまを
おむかえしたいと思いました。か
みさま、これからも、ずっとそば
にいてください。

セシリア金相美（蔣瑞潤 母）

6月20日、娘は待望の洗礼式と初
聖体を受けました。未曾有のパン
デミックの中、果たして予定通り
行事が行えるかどうかハラハラし
ておりました。伊藤リーダーから
洗礼式・初聖体の日取りが決まっ
たと、連絡が届いた日は歓喜でし

た。4月、洗礼名を決めることか
ら始めました。洗礼名は母子とも
に意気投合して「ソフィア
Sophia」で決定です。代母様から
推薦してもらったソフィア・バラ
様の伝記を読み、聖心会を作り、
活発な教育活動を行っていたソ
フィア様の業績を確認するた
び、本を読むのが大好きな娘に
びつたりの霊名だと改めて確認で
きました。

きょうかいのおしえ、やねい
よいよ当日。この日を祝福する

ようによく晴れた綺麗な日でし
た。白いドレスにブルーのリボン
を巻き、お花がついたヘアバンド
をした姿の娘は、清く輝いている
気がしました。この日の為に、カ
トリックやイエス様のなされてい
たことがらについて勉強をし、少
しずつ自分がカトリック教徒であ
ることを認識し、数か月にわたる
準備をしてきましたから。

これまでこの日の為に献身的な努
力で尽くしてくださった伊藤リー
ダー、パウロ神父様、その他南山
教会コミュニティの皆さんに深く
感謝申し上げます。この沢山のお
恵みとともにいつも神様が皆さん
とともにおられますようにお祈り
いたします。

典礼一口メモ 香部屋の窓から 第42回 「テキスト」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

ミサやその他の典礼で私たちは
テキストを使います。便利なもの
ではあります。実は落とし穴も
あります。ミサで使っている「聖
書と典礼」には当日の祈願文や聖
書朗読の箇所や答唱詩編、アレル
ヤ唱、共同祈願が記載されていま
すから典礼に携わる全ての人に共
通のテキストです。とても便利で
す。ですが、聖書が読まれている
場面では、読んでいる奉仕者以外

の人は「聞く」ことに心を傾けた
のです。ところが手元にテキスト
トがあるとなつて「目で追つて
しまふ」これは、実は少し残念な
ことなのです。勿論、身体の状態
によつて耳で聞くことが困難な時
には「目でみ言葉を聞く」ことも
あります。それはそれで良いので
す。ところが儀式に参列する人の
多くがテキストに目を落としてい
ることで典礼を味わい尽くしてい
ないとすれば勿体ないことです。
また、ミサに限らず、他の典礼で
も祈りの言葉や流れなどは出来る
だけ頭に入ると良いと思います。
聖書と典礼には、その日固有の情
報が載せてありますから必要な奉
仕者には、その場面で目を離せま
せんが、ミサで言えば流れや応
唱、ミサ賛歌などの交唱、主の祈
りなど定番の言葉は、多くの方が
そらんずることが出来ます。そし
てその多くは司祭と奉仕者、会衆
の対話によつて成り立っています
。テキストではなく、司祭の様
子や祭壇の状況に目を向け適切な
「言葉」を口にできることが望ま
しいです。同様にミサ以外の典礼
の場面でも定番の祈りなどは出来
るだけ慣れて身に着けたいです
ね。それなのに「覚えにくく
なる」ことです。テキストの完

成度が高いほど「頼ってしま
う」。大袈裟な言い回しですが
「これがあれば誰でも出来る」と
いう完成度の高いテキストは、や
やもすると「これがなければち
んと出来ない」という弱点を併せ
持つてしまうことに繋がります。
年に一度しかしない特別な典礼も
ありますから「ない方がいい」と
は思いませんが、普段の典礼につ
いては「なるべくテキストやマ
ニユアルは見ない」ことがより雰
囲気を高め美しい典礼につながる
ように思います。口語訳がたびた
び変わってしまう祈りの言葉も
あって「見ないと唱えられない」
時期もありますよね。でも、出来
るだけ言葉を頭に入れて「目」を
テキストから解放し、典礼の風景
を味わうようにしたいと思いま
す。

今も侍者が鈴を振っているのはそ
の名残です。大切な場面であるこ
とには変わりがありませぬから
ね。

第3回運営委員会

7月25日

司祭団より

8月1日から7日まで主任司
祭が軽井沢での黙想会に参加す
るので不在となります。

◎報告・連絡事項

1. 営繕委員会・大規模補修プロ ジェクトチームより

(営繕委員会)

営繕委員長より配布資料に基
づき7月24日開催の営繕委員会
の内容について説明がされまし
た。

※以下営繕委員会議事録

1. 建設業者の選定

選定の経緯
最底3社の見積りを要すると
いう方針で、以下の3社に見積
りを依頼した。

丸長ホーム

誠和建設

安井工務店

丸長ホームは見積書の内容要
件を満たしていなかったため、
誠和建設と安井工務店の2社に

ついて比較検討した。以下税込
金額。

第1次見積り金額

誠和建設 108,020,000円

安井工務店 112,420,000円

両社とも予算超過であったの
で、プランを変更した上で減額
を求めた。

第2次見積り金額

誠和建設 100,177,000円

安井工務店 93,901,500円

内容を検討の結果、安井工務
店に発注すべきとの結論となっ
た。

尚、工事総額の9%を大住建
築士の報酬とする。建築確認申
請費用などが必要となる

予算及び資金繰りについては、
伊藤財務委員長から説明があっ
た。次ページ参照

2. 改定の計画

1) 外構及び中庭の工事は、構
造上不可欠のものを除き、後日
別途に計画する。

2) 床仕上げ内壁仕上げなどの
材料を変更する。

3. 工期

7月25日運営委員会と、7月
30日神言会管区顧問会議の承認
を前提として、
9月契約締結

11月旧信徒会館解体終了

12月着工

12月末地盤改良工事終了

2022年3月末〜4月初旬上棟

7月本体完工

8月外構完成

4. 不確定要素

1) 工期は外部要因により変更
がある。

2) 材料費主に木材価格

3) 旧信者会館解体時にアスベ
ストが発見された場合の処理費
の増額

4) 地盤調査の結果による地盤
改良費の増額

5. その他

1) 通信設備のカトリック会館
からマリア館への移転費用

電気、配管工事

339,400円 司祭館負担

設備移転工事保守料を含む

550,000円 本件は通常処理に
て対応する予定。

2) 伐採木屑の処理

第1回分は、140,000円支払済

第2回分は解体費を含む。」

南山教会での重要な案件は神
言会管区の顧問委員会を通す必
要があります。

透明性確保のために複数の業
者に合い見積もりをとる必要が

ありました。何社か打診した中で業者側の都合で見積もりに応じていただけない業者が数社ありました。

当初見込みは800万円ほどでしたが、建築費や材料の高騰により見込みを大幅に超えましたので、仕様を変更して再見積もりをしました。

依頼予定の安井工務店について、大住建築士の知るところとしっかりと仕事をされる業者だとのこと。

一般的には手形決済が多い中、当方はそうではないため支払い条件も含めて業者と値引きについて交渉します。

不確定要素の中で、建築予定場所北側の道路は川だったことから地盤改良がどれほどになるかは調査をしなければ分かりません。

外構や植栽の伐採や通信工事の一部は神父様と信徒で行って予算を圧縮しています。

解体工事が10月に始まると中庭に自転車が置けなくなるので代わりに司祭館の北側を整地して仮自転車置き場にします。

費用について、伊藤財務委員長より今現在使える預金が一億

一千百万円あります。その他に百万円ほどの基金がありますが使用目的が別なので除外しています。

今回の計画ではざっと一億三千万円ほどかかる予定なので八百万円ほど残りますが、通常の運転資金としては心もとないため、パウロ神父様と協力して、改めて大規模献金をお願いをしたいと思います。

また、不確定要素で金額が増加するリスクもあります。ですから、万が一資金ショートした場合に備えて、管区に対して上限二千万円を目安に借入れの要請をお願いしたいと思います。

質問など特になし。
運営委員長より、ナザレ館の建築計画について今までの経緯の説明がありました。

旧カトリック会館が取壊し予定として使用禁止になってから、一定の期間が経過しておりますが、その後パウロ神父様就任時より皆さんの意見を集約して頂

き、新建物(ナザレ館)の着工計画が始まりました。

主任司祭より、ジェブーラ管区長も応援していただいています。勉強会や教会学校のスペー

スはギリギリですので将来に向けて新しい建物は必要です。計画をしている間に建築費全般の高騰もありました。しかし一般の方からこの計画の為に、信徒の方からこの計画の為に800万円もの献金もありました。資金的にギリギリで心配はありますが、あきらめないで進める必要があります。

丸尾管轄委員長より、大規模修繕プロジェクトのいきさつを再度案内がありました。何年も前から、鐘樓の耐震強度不足・大聖堂の天井が現在の耐震基準に達していない。(修繕済)カトリック会館の耐震強度不足の問題がありました。

この中で、鐘樓については耐震改修が難しく費用も大きいとすることで保留となっております。

天井改修については、当初通常の施工だと800万円ほどの費用が掛かるとの話だったが、新しい工法で費用を大幅に抑えることが出来ました。

旧カトリック会館については、機能を移転してマリア館で運用してきました。

以上について、議長より賛否が諮られたところ参加者18名中

18名全員が進めることについて賛成が得られ承認されました。南山教会運営委員会での反対意見はありませんでした。

2. 各会の活動報告の月報記載について
毎年ならば5月開催の全体集會にて報告をしますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で遅れておりますので、順次月報に掲載します。

3. 平和旬間に ついて
(典礼委員会)

8月6日(金) 10時から主の変容のミサの中で、8月9日(月) 10時から聖体礼拝に続いてのミサの中で平和の祈りをいたします。例年、8月聖母被昇天に近い主日ミサの中で聖母被昇天祭を行っておりますが、今年度はコロナの関係で行われません。

今年度は、日曜日にあたるので残念です。

第13回平和祈念の集いを8月1日(日)の12時半より大聖堂で行います。昨年同様、密を避けるために人数制限をします。

通常ミサと同じく145名までの制限です。

主任司祭より、6日聖体礼拝

と9日入祭と15日の被昇天祭の入祭の際に聖歌隊の代表者が歌うことにしたい。司教様に確認したところ代表方1名が歌う分には良いと思うとの意見をいただいたので、そのように進めたいとのお話がありました。

オルガン管理委員長の水谷さんより、オルガニスト世話役の立場で次の意見があった。歌については去年より歌えない状態が続いている上に、帰省の時期で感染者が増えている地域の方もミサに参列する可能性もあります。また、奉仕者が一人で歌うとしてもどこで歌うかが重要で、飛沫に関して対策を考えるならば一般参加者の居ない2階席で歌うのが妥当です。また、独唱だと合唱より練習が必要とのこと。

協議の結果、15日の聖母被昇天については提案通りと致しませんが、8時・9時30分・11時のミサにおいて先唱者が2階席で独唱することとなりました。
(讚美歌集156頁)

◎ 審議・相談事項

1. 小教区宣教司牧評議会とその規約について

(運営委員会)

数年前より、宣教司牧評議会(宣司評)を再構築し、その規約を作成し、今年度中に提出する様にとの要請が司教様よりありました。

○信徒使徒職協議会について、これまで行ってきた教区の行事は宣教司牧評議会に移管され、一人一人の信徒が社会・職場・家庭の中で行っている使徒職としての役割を審議し、指針を与えていくという働きに特化した会として生まれ変わりつつあるといつてもよいと思います。

○宣教司牧評議会について、教区行事・運営を統括する会としての位置づけが明確となり、これまで信徒使徒職評議会で行われていた教区の行事も本会に移管されました。

※一言で言い表すなら、教区・小教区・信者の縦のつながりを統括するのが、宣教司牧評議会です。一人一人の信徒の横のつながりを統括するのが、信徒使徒職協議会であるといえるのではないかと思います。

○小教区への司教様の要請

上記のような流れのなかで、小教区において行事・運営を統括する会(小教区宣教司牧評議会

を再構築し、その規約を制作し、今年度中に提出する様にとの要請が司教様よりありました。

○前記の要請を受け、南山教会運営委員会の規約を司教様にご精査いただき、その内容に付き「よくできています」とのお言葉を頂きましたが、同時に以下の修正についてのご指導も頂きました。

目的・立ち位置の訂正…主任司祭の諮問機関 ↓ 主任司祭と共に共同識別の場

名称を統一の為に…運営委員会 ↓ 宣教司牧評議会 運営委員長 ↓ 信徒代表 副運営委員長 ↓ 信徒副代表

今後上記規約の変更を検討するにあたり、まず各会の皆様に関するに、経緯を知っていただき、以上の経緯を進めてまいりませう。

9月の運営委員会から審議を進めます。詳しいことは配布資料にもありますので今一度ご確認ください。

議長より。ヨセフ会とマリア会より教区と城東ブロックに担当者を出している中で信徒協

宣司評の関係性もあり、役割などについて整理して理解していく必要がありますので9月から審議しましょう。

2. 下半期の教会行事について

○避難訓練について

コロナ禍にて訓練を行うことは現実的ではありませんが、訓練予定日当日のミサ終了後に避難の方法を机上にて説明する必要があると思います

8月29日(日)の9時半と11時ミサでレクチャーのみ行います。

○9月の教会美化について

9月26日11時の予定とします。雨天は中止とします。飲み物・おにぎりの手配はヨセフ会が担当します。

○敬老会(合同病者塗油の秘跡)

9月12日(日)8時・9時半・11時のミサで行います。教会学校から記念品を渡していただきます。マリア会より、感染状況が去年と変わらないので昨年と同じように行います。

○昭和区まちなかコンサートについて

10月23日土曜日に大聖堂にて14時から15時で行います。内容はロザリオの月ですのでマリア

様に関する曲を検討中です。

○信者全体集会

日程(案)・10月24日)

昨年同様、大聖堂にて11時ミサ終了後行う予定です。

コロナ禍であるため、前年度同様略式で以下の件に留意し行います。

新運営委員の自己紹介を行う。

質疑応答は質問を事前に募集し、これにこたえる形で行う。

新建物(仮称・ナザレ館)の説明はできうる限り時間をかけて行う。

前週の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み延期する。

3. その他

ヨセフ会の全体集会は10月31日を予定しています。

バザー委員会より、既に中止の案内をしております。来年がどうなるか分かりませんが、小規模な形で行えるにしても、委員会として集まって協議をしたと思います。

8. 各会報告

○典礼委員会

8月6日(金) 10時〜 主の変容のミサ(平和の祈りを含む)
8月9日(日) 10時〜 聖体礼

拜に続いてミサ(平和の祈りを含む)
8月15日(日) 聖母の被昇天祭(教会としての被昇天祭はしません。)

10月17日(日) 典礼奉仕者全体集会、前年同様11時のミサを感謝ミサとして捧げます。

※定例会議は夏休みをいただきます。ただし、典礼に関する緊急動議があれば聞き合わせて下さい。

9月18日(土) 定例会議
10月以降典礼委員会定例会議は、第1土曜日に移動します。

○オルガン管理委員会

7月6日にパイプオルガンの前期定期点検及び調律を行いました。6年前のオーバーホールで張り替えた「ふいご」の皮が劣化して破れているのがみつか

り、7月15日に4か所ある皮をすべて張り替えてもらいました。パウロ神父様に、オルガン

室に入れるよう扉を作ってもらい、作業がやり易く風通しも良くなりました。

コロナ禍での梅雨期の高温

度、夏の高湿、夏の高湿、冬の乾燥などオルガン周囲の環境も厳しく、皮の劣化が予想以上に

早く進んだためと考えられました。

○納骨堂管理委員会

5月 共同納骨段1件200,000円
4体用納骨段1件520,000円

計 720,000円
6月 共同納骨段1件200,000円
4体用納骨段3件1,560,000円

計 1,760,000円

○要約筆記の会

7月17日(土)、7月22日(木) 練習を兼ねた学習会を行いました。

○典礼奉仕者の会

典礼奉仕者全体集会(感謝ミサなど) 10月17日に行います。

○教会学校

6月20日(日) 9時30分のミサで、教会学校の子供8人が初聖体を受けました。(うち2名は洗礼も受けました。)

次回9月5日



パウロ神父様 霊名の祝日 2021.6.27



通信線の埋設作業 2021.7.22

南山句会

新型コロナウイルスが
収束するまで休会します。



聖母被昇天 八月十五日

マリア様の聖なる魂は
解放された鳩のように
その清い身体から離れて
愛された方の懷に
飛び込みました。

イエス様の母
そして私たちの母である
聖母マリア様が
いつもあなたに
やさしくほほ笑んで
御子イエス様から
あらゆる恵みを受けさせて
くださいますように

聖ピオ神父



信者の消息

受洗

おめでとうございます

アンドレア 萩原 逢人
ヨセフ 萩原 維人
ソフィア 蔣 瑞潤
マリア・アスタ 可児 米子

転出

いつまでもお元気で

パウロ 元橋 輝雄 (高蔵寺教会)
マリア HOANG NGOC THUY (高蔵寺教会)
マリア 元橋 朝海 (高蔵寺教会)
パウロ 元橋 拓海 (高蔵寺教会)
パウロ 元橋 春海 (高蔵寺教会)
ミカエル 山口 正義 (麴町教会)
ヨハネ 山口 統平 (布池教会)
エリザベト 竹田 恵子 (仁川教会)
マリア 竹田 理恵 (仁川教会)
マリア・テレジア 竹田 華奈 (仁川教会)

転入

ようこそ

パウロ・テレサ 宮下 泰誠 (松本教会)
使徒ヨハネ 椎野 秀一 (東海教会)
セシリア 椎野 紀美子 (東海教会)
ペトロ 椎野 秀之 (東海教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

7/5 エリザベト 末松 智子 (86歳)

2021年7月・8月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月			10(土)典礼委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)子ども部屋 18(日)教会学校・中高生会終業式 24(土)要約筆記付きミサ 25(日)運営委員会	11(日)城東ブロック会議 17(土)レジオマリエ名古屋クリア
8月	15(日)聖母の被昇天	6(金)平和の祈り 9(月)平和の祈り 15(日)聖母被昇天祭	14(土)典礼委員会・教会周辺清掃 28(土)要約筆記付きミサ	侍者会(神言神学院) 0~0)教区中高生会広島巡礼 0~0)信徒協広島平和巡礼 (日)平和祈願ミサ 6(金)~15(日)平和旬間